



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

地域固有の景観的・観光的な魅力をフットパス事業を通じてあぶり出し市民主導のまちづくりへと展開

屋代 雅充 ( やしろ まさみち )



### ○ 登録者情報

所在地

東京都渋谷区

## 略歴

1986年 日本公園緑地協会創立50周年記念論文 優秀賞受賞:「公園緑地に望まれる景観設計」  
1992年 日本造園学会賞(調査計画部門)受賞:「景観計画手法の開発」  
2004年 観光地域づくりカリスマアドバイザー派遣事業(日本観光協会)  
2006年 都市環境デザイン会議JUDI賞(発表部門)受賞:「山梨県甲州市勝沼町における景観まちづくり」  
2010年度 総務省「地域力創造アドバイザー(甲州市)」

## 著書・論文等

【以下より古いものは省略し、主なものを掲載】

「景観計画」、『公園開発・整備実務計画資料集』所載、1989.12〔総合ユニコム〕  
「観光地の環境整備」、『新時代の観光戦略』所載、1994.1〔日本観光協会〕  
「景観評価とシミュレーション」、日本造園学会編『ランドスケープ大系 第3巻』所載、1998.11〔技報堂出版〕  
「魅せる農村景観—デザイン手法と観光活用へのヒント」(共著)、2004.3〔ぎょうせい〕  
「風景の認識と評価—農の風景から都市の魅力へ」、人と国土21、2005.3〔国土計画協会〕  
「日本の街を美しくする—法制度・技術・職能を問いなおす」(共著)、2006.2〔学芸出版社〕  
「景観評価におけるアフォーダンス理論の有用性に関する考察」、ランドスケープ研究 72(5)、2009.3

## ○ 地域固有の景観的・観光的な魅力をフットパス事業を通じてあぶり出し市民主導のまちづくりへと展開

### 取組の内容

2004年3月に山梨県勝沼町(現、甲州市勝沼町地域)の都市計画マスタープランの策定に関わりました。そこでは、固有の景観を大切にしながらまちづくりを進めるため、『暮らしやすさと勝沼ブランドを育む美しい景観と環境のまちづくり』を基本理念として掲げました。また、「勝沼固有の美しい景観のまち」と「優良なぶどうとワインづくりを育むすぐれた環境のまち」を『まちづくり計画の目標』とし、景観に配慮した土地利用ゾーニングを定めるとともに、勝沼地域景観形成ガイドライン(2006年3月、甲州市)を策定してきました。

こうした計画および努力目標を実現化させるため、「フットパスによるまちづくり」の手法を導入した結果、計画策定段階から市民を中心とした「勝沼フットパスの会」が組織され、まち歩きや議論を重ねながら、フットパス事業をまちづくりの重要な手法として位置づけ、魅力ある景観の形成とそれを支える農業の持続発展、さらには観光振興も含め、住み心地の良い魅力ある地域づくりを推進しています。

### 実績

【勝沼フットパスにおけるガイドウォークイベントの実施状況】

2006年12月 勝沼フットパス お試し歩き会:参加者71名(うち76%が市外者)  
2007年12月 勝沼フットパス ガイドウォーク:参加者117名(うち75%が市外者)  
2008年11月30日 甲州勝沼フットパス祭り:参加者218名  
2009年11月29日 甲州勝沼フットパス祭り(等々力地区)  
2010年11月28日 甲州勝沼フットパス祭り(綿塚地区)  
(以降も継続してガイドウォークイベントが年に数回実施されており、頻度も増えつつある)

- 地域固有の景観的・観光的な魅力をフットパス事業を通じてあぶり出し、市民主導のまちづくりへと展開
- 地域の景観形成に関する助言・講演等

## 工夫した点や苦勞した点

日本造園学会の論文に英国発祥のフットパスの概要とその国内での実践例としてNPO法人みどりのゆび(東京都町田市)の活動が紹介されていました。これを手掛かりとして、その事務局長より詳しい情報を収集し、勝沼の景観まちづくりのメンバーに紹介しました。さらに勝沼在住の有志(後に勝沼フットパスの会を発足)で「多摩丘陵フットパスまつり」に参加し、実際に体験する機会を設けました。これが契機となって、勝沼でのフットパス事業が大きく展開することとなりました。

## ひとことPR

ぶどう畑の広がる固有の景観とワインの町としての魅力をいかに活かすかが地域としての重要課題でした。まちづくりを推進する手段として、フットパスを紹介し、その手法の魅力に敏感に反応してくれた高感度で実行力のある市民の存在が、現在までフットパスの取組を支えている大きな要因となっています。

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	○	10	環境保全
○	5	定住促進	○	11	その他
○	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

東海大学観光学部	<a href="http://www.u-tokai.ac.jp/undergraduate/tourism/index.html">http://www.u-tokai.ac.jp/undergraduate/tourism/index.html</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 連絡先

メールアドレス	<a href="mailto:yashiro[at]tokai-u.jp">yashiro[at]tokai-u.jp</a>	その他	
---------	------------------------------------------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[at]を『@』に変えてください。